

OB会通信

2015年度 第三号
大阪府立大学陸上競技部

拝啓

秋も一段と深まり、日だまりの恋しい季節となりました。OB・OGの皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たち陸上部員一同は今シーズンの主要な試合を終え、来シーズンのさらなる飛躍を目標に、日々精進しております。

今回は、9月16日から17日にかけて行われた関西学生陸上競技新人選手権大会、10月4日に行われた丹後大学駅伝予選会、10月20日から23日にかけて行われた関西学生陸上競技種目別選手権大会を中心にご報告させていただきます。

敬具



丹後大学駅伝予選会終了時の集合の様子

目次

1. 主将あいさつ

2. 主要試合結果報告

2015 関西学生新人陸上競技選手権大会

丹後大学駅伝 兼 第77回関西学生対校駅伝競走大会 予選会

2015 関西学生陸上競技種目別選手権大会

兼 第37回関西学生混成選手権大会

3. その他の試合結果

4. 今後の目標と反省

1. 主将あいさつ

初冬の候、OB・OGの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、今回のOB通信では関西学生新人選手権大会、丹後大学駅伝予選会、関西学生種目別選手権大会についてご報告させていただきます。

まず、関西学生新人選手権大会では、去年の2名から増えて9名もの選手が出場しました。短距離、中長距離、跳躍からそれぞれ3名ずつと、人数が増えただけでなく競技のバランスが取れていて、チーム全体として底上げが感じられました。また、決勝には男子400m、及び女子800mで2名が進出するなど頼もしい限りでした。今年の出場選手の大半を占めていた2回生は、来年は出場できませんので、1回生のさらなる成長を期待したいです。

丹後大学駅伝予選会では、本選に出場できる12位には及ばず、17位となり本選出場の夢は叶いませんでした。結果発表でなかなか大阪府立大学の名前が読み上げられず、実際にレースに臨んだ選手、応援に駆け付けた部員ともにとっても悔しい思いでした。しかし、大幅にベストを更新した選手もおり、来年に向けて明るい話題も出てきました。来年は今年以上に選手の数が減ってしまい、また本選出場校の選考が記録審査方式で決定するように変更されますが、この悔しい思いを来年にぶつけて欲しいと思います。

シーズン最後の大きな大会となった関西学生種目別選手権大会は、晴天に恵まれた中、4日間に渡って競技が繰り広げられました。大阪府立大学からは22名の選手が出場しました。関西の強豪校と競技をすることで、大きくベストを更新して実力を発揮した選手や、自分の思うような結果を残せず悔しい思いをした選手、結果は違えどよい経験となりました。複数種目で決勝進出者を出すことができましたが、府大記録更新は男子400mの1種目と少し物足りない結果となってしまいました。来年は決勝進出者をより多くだし、関西でも高いレベルで戦える選手を増やせるように頑張りたいと思います。

私事ではありますが、今回のOB通信で私が主将あいさつを書かせていただくのは最後となります。この1年間、たくさんのご経験させていただき、本当に感謝しております。また、大会に応援に来てくださったOB・OGの皆様、応援のメッセージを贈ってくださったOB・OGの皆様にも大変感謝しております。12月からは私の次の代が新しい幹部となります。今後ともご支援、ご声援をよろしく願いいたします。

文責 主将 西田 大 (3)

2. 主要試合結果報告

☆は自己ベスト、★は大学ベスト

2015 関西学生新人陸上競技選手権大会

9月16日～17日 ヤンマーフィールド長居

グランドコンディション

9月16日 雨 24.0℃

9月17日 曇り 24.5℃

男子400m

駒井 智己 (2) 予 48" 93 (2着)
準 49" 29 (4着)
決 49" 96 (第7位)

中田 剣 (2) 予 50" 30 (3着)

駒井(2)は今大会800mに続くレースであったがそれを感じさせない走りで順当に決勝に進出した。決勝では疲れが見え記録を落としてしまったものの見事第7位に入賞した。中田(2)は調子は良かったものの納得の走りをする事ができず、惜しくも準決勝進出を逃した。両選手とも今大会の経験を枷にして記録向上を期待したい。

文責 黒田 丈一郎 (2)



男子400m準決勝を走る駒井（2）（写真中央）

男子800m

駒井 智己（2） 1' 55" 74☆ （3着）

久住 健一（1） 1' 59" 18☆ （3着）

駒井（2）は予選通過が0着+8という条件だということもあって一週目から引っ張る積極的なレースを見せた。結果的には0" 03差で決勝進出を逃したが自己ベストを更新した。久住（1）も同じ組の強豪選手についていく走りで前半から積極的に飛ばすレースを見せた。後半に少し失速したものの久住も自己ベストを更新した。両選手のこれからの更なる自己ベスト更新に期待したい。

文責 小寺 知輝（2）

男子走高跳

前原 脩人（2） NM

前原（2）は怪我の影響がある中での出場であったが最初の高さの1m75を三回とも失敗してしまった。これからのシーズンに向けて怪我の早期完治が望まれる。今回の経験を踏まえて秋のシーズンの飛躍に期待したい。

文責 黒田 丈一郎（2）

男子走幅跳

前原 脩人 (2) DNS

木矢 裕貴 (1) 6 m 0 9 (第38位)

走幅跳に出場した木矢(1)は、一本目ということもあり勢いをつけた助走で挑戦したが以前に怪我をしたところを再び痛めてしまい、2本目以降を棄権した。次回は怪我から復帰し更なる跳躍を期待したい。

文責 中田 剣 (2)

男子三段跳

小寺 知輝 (2) 1 4 m 1 2 (−0. 1) ☆ (第9位)

三段跳には小寺(2)が出場した。小寺は二回目および三回目の跳躍で自己ベストとなる1 4 m 1 2を記録したがベスト8まで3 c m届かず9位という結果に終わった。本人は納得のいく跳躍ではなかったとのことなのでこれからの試合での更なる自己ベスト更新に期待がかかる。

文責 大野 寛季 (2)

女子200m

森口 咲紀 (1) 2 8 " 1 8 (0. 0) ★ (6着)

女子200mには森口(1)が出場した。前半は同じ組の選手に食らいつく良い走りが出ていたが後半の失速が目立ち6着でのゴールとなった。練習では調子が良いところを見せているのでこれからの活躍に期待したい。

文責 池田 美悠 (2)

女子400m

池田 美悠 (2) 1' 03" 26 (4着)

池田 (2) は前半から飛ばす勝負に出たが後半でスピードを維持できず記録はまずまずといったところであった。後半の失速がなければこれからの記録にも期待ができるレースであった。本職の短短種目を走るうえでも今回のレースはいい経験になったであろう。これからの飛躍に非常に期待の持てるレースであった。

文責 田中 亜美 (2)

女子800m

中島 咲歩 (1) 予 2' 22" 62★ (3着)

決 2' 28" 03 (第8位)

女子800mには中島 (1) が出場した。予選では序盤は先頭集団の後方について走り400m付近から順位を上げ3位でフィニッシュし決勝進出を決めた。決勝では予選と同様に先頭集団についていくことができたものの後半はついていくことができず8位でフィニッシュした。今後は本数を重ねてもしっかり走れる力をつけて決勝で結果を残せる選手になることが期待される。

文責 三好 克典 (2)

《応援に参加していただいたOB・OGの皆さん》

大黒さん

お忙しい中、お越し頂きありがとうございました。

丹後大学駅伝 兼

第77回関西学生対校駅伝競走大会 予選会

10月4日 京都市西京極総合公園陸上競技場
グランドコンディション 晴れ 26.0℃

総合結果

17位／19位 4時間44分02秒78
(10000m各チーム上位8人の合計タイム)

個人結果

第1組

二本松 立朗 (4) 38' 41" 91 (35着)

岡野 圭一郎 (1) 37' 57" 83 (32着)

二本松(4)、岡野(1)は太陽が照りつけ、気温も高いといった気候の中、二本松が岡野を引っ張る形で序盤からペースを刻んでいたが、後半からペースが落ちてしまった。二本松は得意とする粘りとスピードを練習不足のため発揮することができなかった。岡野は中距離選手でありながらも、初め10000mを完走することができた。

文責 名越 彩佳 (2)

第2組

小槻 日出夫 (M1) 36' 47" 98 (33着)

駒井 智己 (2) 35' 52" 74☆ (31着)

小槻 (M1) は十分に練習を積めていなかった中での出場であったが、序盤から集団に付いていく走りを見せた。しかし中盤で集団から離れると暑さや風の影響も受け、徐々にペースを落としてしまい非常に苦しいレースとなった。駒井 (2) は去年に続いての出場となった。序盤から自分のペースで競る相手を見つけ、終盤まで安定したペースで刻み、ラストは苦しみながらも組31着でのフィニッシュとなった。

文責 三好 克典 (2)

第3組

高本 雄太 (3) 34' 47" 20 (26着)

酒井 辰也 (1) 37' 10" 13 (35着)

高本 (3) は序盤、良いペースで刻むことができたものの中盤以降はペースを落とす苦しい走りとなった。酒井 (1) は3000mまでは集団についていたものの3000m以降はついていくことができずペースを落としてしまった。しかし両選手ともこのレースで課題を見つけたようなのでこれからに期待がかかる。

文責 黒田 丈一郎 (2)

第4組

村上 将悟 (4) 34' 10" 46 (30着)

久富 優太 (1) 32' 46" 41☆ (17着)

村上 (4) は序盤、快調にペースを刻んでいたが徐々にペースを落とし集団から離れてしまう苦しい展開となった。久富 (1) は徐々にラップを落としていったもののラスト1kmでスパートをかけ見事自己ベストを更新した。今回の経験を次のレースへと生かしてほしい。

文責 西上 寧子 (2)



10000m第4組を走る久富（1）（写真中央）

第5組

大松 達也（4） DQ

三上 賢吾（3） 34' 30" 03 （33着）

大松（4）は健闘したものの研究室などであまり練習ができていなかったこともありDQという結果になってしまった。三上（3）は先頭集団についていくことができず終始一人で走る展開となってしまう結果は不甲斐ないものとなってしまった。

文責 池田 美悠（2）

《応援・競技に参加していただいたOB・OGの皆さん》

藤原さん、北川さん、武田さん、甲木さん、佐原さん、大黒さん、小槻さん、高尾さん
お忙しい中、お越し頂きありがとうございました。

2015 関西学生陸上競技種目別選手権大会

兼 第37回関西学生混成選手権大会

10月20日～23日 ヤンマーフィールド長居
グランドコンディション

10月20日	晴れ	26.3℃
10月21日	晴れ	26.3℃
10月22日	曇り	24.4℃
10月23日	晴れ	25.0℃

男子100m

西田 大	(3)	予	11"03	(-0.3)	(3着)
中山 正哉	(3)	予	11"69	(-1.6)	(6着)
黒田 丈一郎	(2)	予	11"46	(+1.4)	★ (7着)

西田(3)は足の動きもよく、リラックスしながら走ることができたが思うようにタイムが伸びなかった。中山(3)は力んでしまい、いつものように伸びやかな走りができず、悔しそうであった。黒田(2)は大学ベストを出すことができたが、本人は納得がいかなかったようである。今回の反省を活かし来シーズンに期待したい。

文責 名越 彩佳(2)

男子200m

嶋田 祥久	(4)	予	22"04	(+1.9)	☆ (5着)
-------	-----	---	-------	--------	--------

嶋田(4)は前半の100mは同じ組の格上の選手に食らいつく走りを見せた。しかし後半の100mは他の選手に離されてしまい5着でのフィニッシュとなった。記録自体は自己ベストであり府大記録に迫るものであったが準決勝進出まであと0.09秒であったということもあり本人はとても悔しそうであった。大学院進学後の記録の向上に期待がかかる。

文責 黒田 丈一郎(2)



男子200m予選を走る嶋田（4）（左から2人目）

男子400m

大村 駿弥	(4)	予	47" 88☆	(1着)	府大新!
		準	48" 93	(2着)	
		B決	DNS		
高田 昌人	(4)	予	50" 17	(4着)	
駒井 智己	(2)	予	48" 67	(3着)	
		準	DNS		

大村（4）は予選から府大記録を更新する走りを見せた。レースは後半に失速しない見事な走りであった。しかし準決勝ではレース中に脚の違和感を感じたため後半にスピードに乗ることができず2年連続のA決勝進出とはならなかった。B決勝は大事を取って棄権した。高田（4）は直前の体調不良もあってか身体がうまく動かせず予選敗退という結果になってしまった。駒井（2）は自己ベストに近いタイムを記録したものの本職の800mに備えるため準決勝は棄権した。3選手ともにまだまだ記録が伸びそうとのことなので今後に期待である。

文責 大野 寛季（2）

男子800m

駒井 智己	(2)	予	1' 59" 54	(2着)
		準	1' 58" 62	(4着)
久住 健一	(1)	予	2' 00" 69	(5着)

駒井(2)は前半から集団の前方に付いて走り、500m地点通過後ペースを上げ後続を引き離して2着で準決勝進出を決めた。準決勝では前半から集団に付いて行くことができたが終盤の競り合いに敗れ、決勝進出とはならなかった。久住(1)は序盤からペースを上げ1周目を先頭で通過した。しかし中盤以降は後続の選手との競り合いになり、粘りを見せたものの終盤に力尽き組5着となった。

文責 三好 克典(2)

男子5000m

三上 賢吾	(3)	決	16' 42" 85	(22着) (第45位)
久富 優太	(1)	決	15' 48" 25☆	(13着) (第29位)

三上(3)は丹後駅伝の予選会を終えてから調子が本調子に戻っておらず記録はシーズンワーストとなってしまった。久富(1)は試合直前に足を痛め不安の残る中での出場となったが公認の試合での自己ベストを記録した。両選手とも万全の調子で臨めば記録はさらに向上すると思われるのでこれからの期待したい。

文責 池田 美悠(2)

男子400mH

小川 潤	(M2)	予	55" 89	(4着)
		準	56" 95	(8着)
山口 裕太	(4)	予	55" 12	(4着)
		準	55" 40	(7着)

小川(M2)はこの大会で自身初の標準記録を突破しての出場、そして大学での陸上生活の最後の大舞台ということあり並々ならぬ覚悟で臨み予選から自己ベストに近い記録を記録し見事準決勝に進出した。山口(4)は十種競技で府大記録を大きく更新した勢いで府大記録を目指しての出場であったがハードルの1台目から足が合わず苦しいレースとなったものの4着に入り準決勝へ進出した。準決勝では両選手とも疲れが見えたのか記録を落としA決勝およびB決勝への進出はならなかった。

文責 黒田 丈一郎(2)

男子4×100mR

大阪府立大学（中山（3）－西田（3）－宮崎（1）－嶋田（4））

予 42" 31

現状のベストメンバーで挑むことができたこの種目であったが1走2走間のバトンパスはうまくいったものの2走3走間および3走4走間でバトンパスがスムーズにいかず記録は低調なものになった。しかしバトンパスさえうまくいけば十分に関西でも戦えるだけのメンバーであるためこれからはバトンパスの精度向上が課題である。

文責 黒田 丈一郎（2）

男子4×400mR

大阪府立大学 DNS

男子走高跳

片岡 裕 （4） 決 1 m 8 5 （第34位）

前原 脩人 （2） 決 DNS

片岡（4）は久々の試合で高さ不足と思わせる跳躍であった。はまった跳躍ができず本人も首をかしげる様子が見られた。本人は2mを目標にしていたので今大会は非常に悔しい結果となってしまった。冬季練習を乗り越えての目標達成に期待がかかる。

文責 田中 亜美（2）

男子走幅跳

大黒 貴弘 （M1） 予 7 m 1 4 （+1. 6）

決 7 m 0 4 （+2. 4）（第11位）

大野 寛季 （2） 予 6 m 6 7 ☆（+0. 5）

大黒（M1）は1、2本目の跳躍はうまくまとめられず間延びをした跳躍となったが、徐々に感覚を取り戻し3本目に7m14を跳び決勝進出を果たした。決勝では力みから本調子の跳躍ではなかったがそれでも7mを超える跳躍を見せた。大野（2）は足の怪我があり調子がそれほどよくないように見えたが、持ち味のスピードを発揮し、自己ベストを1cm更新する6m67をマークした。両選手とも今後の更なる記録の更新が期待される。

文責 小寺 知輝（2）

男子三段跳

小寺 知輝 (2) 予 NM

小寺(2)は足首の痛みを抱えたままでの出場となった。華麗な助走で踏切板に足は合ったもののステップにつなげることができなかった。痛みのある中で3本挑戦するも記録を残すことができなかった。本来の力を出すことができたとはいえない試合なので来年以降の記録更新に期待したい。

文責 駒井 智己(2)

男子十種競技

山口 裕太 (4) 6544点☆ (第4位) 府大新!

前原 脩人 (2) DNS

100m: 山口 裕太 (4) 11"53 (+0.8)☆ (746点)

第一種目で自己ベストを更新することができ、残りの種目へ良い流れを作ることができた。

文責 三好 克典(2)

走幅跳: 山口 裕太 (4) 6m40 (+1.2) (675点)

自己ベストまで3cmという好記録を残し、調子の良さを見せた。

文責 三好 克典(2)

砲丸投: 山口 裕太 (4) 10m64 (524点)

自己ベスト更新とはならなかったが、全ての試技で10mを超える投擲を見せた。

文責 三好 克典(2)

走高跳: 山口 裕太 (4) 1m85 (670点)

1m85を1回で成功させ、自己ベストの更新にも期待がかかったが、続く1m88で力尽き、自己ベスト更新とはならなかった

文責 三好 克典(2)

400m: 山口 裕太 (4) 50"65 (785点)

1日目の最終種目の400mでは自己ベスト更新はならなかったが、好記録を残し2日目へ繋いだ。

文責 三好 克典(2)

110mH：山口 裕太（4） 15"68（+2.1）（769点）

納得のいくハードリングはできなかったもののスプリント力の向上と追い風により追い風参考記録となってしまったものの自己記録を上回るタイムを記録した。

文責 西上 寧子（2）

円盤投：山口 裕太（4） 29m35（452点）

練習の成果が発揮されず、競技中に修正もできなかったため自己ベスト更新とはならなかった。

文責 西上 寧子（2）

棒高跳：山口 裕太（4） 4m20（623点）

練習では調子が悪かったものの本番では一本一本集中して挑んだことにより本来の調子を取り戻し高さのある安定した跳躍をすることができ自己ベストタイとなる記録を残した。

文責 西上 寧子（2）

やり投：山口 裕太（4） 46m62☆（539点）

本人の苦手な種目であったが、試合前の一か月間は他大学に行きアドバイスをもらい基礎から練習した成果が出て力のある投擲をすることができ3年ぶりに自己ベストを更新した

文責 西上 寧子（2）

1500m：山口 裕太（4）

初めの2周を先頭で引っ張り後半を他の選手に引っ張ってもらった展開となったがスパートをかける体力が残っておらずラスト1周で離されてしまい自己ベスト更新とはならなかった。しかし目立って失敗した種目がなかったため府大記録を大幅に更新し見事第4位に入賞した。

文責 西上 寧子（2）

女子400m

池田 美悠（2） 予 1'02"20☆（6着）

池田（2）はスタートでは出遅れてしまい自分のペースが崩れてしまった。しかし足の痛みを抱えていて直前まであまり走っていなかったにも関わらず自己ベストを更新した。万全の状態に挑めばさらなる自己ベスト更新を期待できるであろう。

文責 大野 寛季（2）

女子800m

炭谷 佳奈 (3) 予 2' 18" 25 (1着)
準 2' 17" 88 (3着)
決 2' 16" 16☆ (第5位)
中島 咲歩 (1) 予 2' 24" 43 (4着)

炭谷(3)は日ごろの練習の成果を発揮し予選準決勝を無難に勝ち上がり見事決勝まで進出した。決勝では一週目は後ろのほうに位置していたがそこからしっかりと追い上げて5位に食い込んだ。大舞台で自己ベストを更新する素晴らしい走りを見せてくれたものの本人は満足していない様子だったので来シーズンはさらなる飛躍を期待できるだろう。中島(1)はレベルの高い組で前の選手に食らいつく走りを見せたが惜しくも予選敗退となってしまった。本来の力を発揮できれば決勝でも戦える選手であるので気持ちを高めて来シーズンにつなげてほしい。

文責 田中 亜美(2)



女子800m予選を走る炭谷(3)(右から2人目)

女子400mH

森口 咲紀 (1) 予 1' 08" 32 (5着)

森口(1)は本大会が大学初の400mHの出場であり、ハードルの練習をあまりできなかったせいか納得のいく走りをする事ができなかった。しかしB決勝進出まであと少しというところであったので来年以降に期待がかかる。

文責 黒田 丈一郎(2)

女子やり投

星合 里香 (4) 予 34m71 (第23位)

星合(4)は怪我や授業のため、満足な練習ができていない中での出場となった。結果は34m71と本来の実力を発揮することは出来なかった。今後復調し、さらに飛躍することに期待したい。

文責 三好 克典(2)

《応援・競技に参加していただいたOB・OGの皆さん》

中野さん、大仲さん、小川さん、奥野さん、野本さん、大黒さん
お忙しい中、お越し頂きありがとうございました。

3. その他の試合結果

☆は自己ベスト、★は大学ベスト

第24回姫路選手権大会 9月12日(土)～13日(日) 姫路市立陸上競技場

男子400mH 小川 潤 (M2) 予 56" 27
決 58" 46 (第7位)
男子走幅跳 大黒 貴弘 (M1) 7m19 (+1.7) ☆ (第2位)

第2回長距離ナイター記録会 9月14日(月) ヤンマーフィールド長居

男子10000m 小槻 日出夫 (M1) 37' 28" 71
三上 賢吾 (3) 33' 30" 34
岡野 圭一郎 (1) 37' 20" 45 ☆
酒井 辰也 (1) 35' 48" 28 ☆
久富 優太 (1) 32' 59" 77 ☆

第6回京都陸協記録会 9月19日(土) 丹波自然運動公園陸上競技場

男子400mH 小川 潤 (M2) 55" 48 ☆

第3回大体大中長距離記録会 9月19日(土) 浪商学園陸上競技場

男子800m 久住 健一 (1) 2' 01" 57
男子5000m 村上 将悟 (4) 15' 55" 60
女子800m 炭谷 佳奈 (3) 2' 17" 76 ☆

大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会兼第6回シニア陸上競技選手権大会

9月22日(火) ヤンマーフィールド長居

男子100m 倉本 淳嗣 (4) 予 11" 39 (+0.9)
西田 大 (3) 予 10" 90 (+0.9) ☆
決 11" 02 (+0.7) (第2位)
黒田 丈一郎 (2) 予 11" 52 (0.0)

	宮崎 喬平	(1)	予	1 1" 1 8	(+0. 5) ☆
	吉田 巧未	(1)	予	1 1" 9 5	(+0. 9)
男子400m	大村 駿弥	(4)	予	5 1" 4 2	
			決	4 8" 6 2	(第2位)
	嶋田 祥久	(4)	予	5 1" 4 4	
	久住 健一	(1)	予	5 2" 4 8	
男子10000m	高本 雄太	(3)		3 5' 2 4" 9 8	(第4位)
男子走幅跳	大野 寛季	(2)		6 m 6 6	(+1. 1) ☆ (第4位)
女子800m	炭谷 佳奈	(3)		2' 2 1" 1 4	(第1位)

第3回奈良市記録会 9月23日(水) 鴻ノ池陸上競技場

男子100m	大黒 貴弘	(M1)		1 1" 6 5	(-3. 9)
	西田 大	(3)		1 1" 2 4	(-1. 9)
	中山 正哉	(3)		1 1" 4 9	(-1. 9)
男子200m	嶋田 祥久	(4)		2 2" 3 0	(-0. 8)
	西田 大	(3)		2 2" 2 9	(-0. 8)
	中山 正哉	(3)		2 2" 9 2	(-0. 8) ☆

第9回金岡ダイヤモンドゲーム 9月26日(土) 金岡公園陸上競技場

男子5000m	高本 雄太	(3)		1 6' 5 0" 1 6	
---------	-------	-----	--	---------------	--

奈良県記録会 10月10日(土)～11日(日) 奈良県立橿原公園陸上競技場

男子100m	宮崎 喬平	(1)		1 1" 3 0	(0. 0)
男子200m	嶋田 祥久	(4)		2 2" 7 6	(0. 0)
	黒田 丈一郎	(2)		2 3" 7 8	(-2. 8)
男子110mH	山口 裕太	(4)		1 6" 0 8	(0. 0)
男子400mH	山口 裕太	(4)		5 4" 4 6	
男子走高跳	前原 脩人	(2)		1 m 7 5	
男子走幅跳	松浦 尚平	(1)		5 m 8 4	(-0. 4)
男子三段跳	小寺 知輝	(2)		1 3 m 6 8	(+0. 5)
女子400m	森口 咲紀	(1)		1' 0 3" 0 5	
女子800m	名越 彩佳	(2)		2' 3 3" 6 4	☆

兵庫陸上競技秋季記録会

10月10日(土)～11日(日) 神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場

男子100m 中山 正哉 (3) 11" 54 (-1.4)
男子3000mSC 高本 雄太 (3) 10' 40" 96

第1回大阪陸協長距離記録会 10月18日(日) ヤンマースタジアム長居

男子5000m 村上 将悟 (4) 16' 55" 09
高本 雄太 (3) 16' 32" 00

第4回大体大中長距離競技会 10月31日(土) 浪商学園陸上競技場

男子800m 駒井 智己 (2) 1' 56" 24
久住 健一 (1) 2' 00" 18
男子10000m 高本 雄太 (3) 33' 35" 18☆
女子800m 炭谷 佳奈 (3) 2' 17" 95

第5回奈良市記録会 11月1日(日) 鴻ノ池陸上競技場

男子200m 大村 駿弥 (4) 22" 61 (+0.5)☆
男子400mH 山口 裕太 (4) 55" 74

第7回奈良県強化・普及記録会 11月3日(火) 奈良県立橿原公苑陸上競技場

男子800m 三好 克典 (2) 2' 23" 26
女子1500m 炭谷 佳奈 (3) 4' 48" 99☆ 府大新!

第48回堺陸上競技選手権大会 11月3日(火)、8日(日) 金岡公園陸上競技場

男子100m 黒田 丈一郎 (2) 予 12" 42 (+0.1)
小寺 知輝 (2) 予 11" 94 (+0.3)
駒井 智己 (2) 予 11" 49 (+0.1)☆
中田 剣 (2) 予 11" 45 (0.0)
木矢 裕貴 (1) 予 11" 83 (0.0)

男子400m	大村 駿弥	(4) 予	48" 74
	高田 昌人	(4) 予	50" 26
	中山 正哉	(3) 予	52" 16
	黒田 丈一郎	(2) 予	53" 50☆
	中田 剣	(2) 予	50" 65
	宮崎 喬平	(1) 予	50" 48☆
男子1500m	村上 将悟	(4) 予	4' 13" 11
		決	4' 11" 78 (第5位)
	三上 賢吾	(3) 予	4' 25" 01☆
		決	4' 41" 04
	駒井 智己	(2) 予	4' 15" 75
		決	4' 28" 71
男子5000m	高本 雄太	(3)	17' 18" 01 (第8位)
	三上 賢吾	(3)	16' 29" 96 (第5位)
男子走幅跳	小寺 知輝	(2)	6m19 (+1.9)
	松浦 尚平	(1)	5m39 (0.0)
女子800m	名越 彩佳	(2) 予	2' 38" 88
	西上 寧子	(2) 予	2' 44" 88☆
女子やり投	星合 里香	(4)	30m47

第4回大体大競技会兼第1回混成競技会

11月7日(土)～8日(日) 浪商学園陸上競技場

男子100m	小川 潤	(M2)	11" 70 (-0.3)
男子400m	小川 潤	(M2)	53" 05
男子400mH	小川 潤	(M2)	57" 03
男子10種競技	山口 裕太	(4)	6028点
100m			11" 70 (+0.4) (711点)
走幅跳			6m11 (+0.2) (610点)
砲丸投			10m77 (528点)
走高跳			1m85 (670点)
400m			51秒20 (760点)
110mH			15秒99 (+0.9) (734点)
円盤投			29m41 (453点)
棒高跳			4m00 (617点)
やり投			36m72 (395点)
1500m			4' 58" 20 (570点)

女子200m 池田 美悠 (2) 28" 31 (0.0)

女子4×400mR 大阪府立大学

(池田 (2) - 炭谷 (3) - 中島 (1) - 森口 (1)) 4' 12" 07 府大新!

4. 今後の目標と反省

短距離パート

秋シーズンが本格的に始まり、最初の大きな大会は関西学生新人選手権大会でした。短距離からは短長パートから3名が出場しました。悔しい結果ではありましたが良い経験になったのではないかと思います。関西学生種目別選手権大会では、大村（4）が400mで47秒台を記録し、決勝にも進出しました。しかし、ほかの選手はなかなか予選を勝ち上がることができませんでした。首都大戦や六公立戦などの小さい大会ではしっかり勝つことができましたが、大きい大会では強豪校との実力の差が浮き彫りになってしまいました。短距離パートの競技力を強く押し上げることはできませんでしたが、パート長を経験させていただき、たくさんのことを勉強させていただきました。

今後は黒田丈一郎、中田剣の2人が短距離パートを引っ張っていきます。より強い短距離パートを作っていくてくれると思いますので、今後ともご声援のほどよろしくお願ひします。

文責 短距離パート長 西田 大（3）

中距離パート

秋の主要な試合である関西種目別選手権が終わり、今シーズンの試合がほぼ終了し、冬季練習の時期を迎えました。9月に行われた関西新人選で中島（1）が800mで、駒井（2）が400mで決勝に進出し、10月の関西種目別選手権で炭谷（3）が決勝に進出し、さらに自己ベストを大幅更新し、5位入賞を果たしました。秋シーズンで3名の決勝進出者を出し、関西のレベルに手が届きそうな手応えを感じられました。また中距離パートはこの時期から他大学との交流が深まっていき、冬季練習に向けて良い準備ができている状態といえます。

もう1年間私がパート長を務めさせていただきます。行き届かない部分もありますが、来年度さらに良い結果を報告できるよう、頑張っていきますので、これからも暖かい声援をよろしくお願ひいたします。

文責 中距離パート長 駒井 智己（2）

長距離パート

関西学生駅伝出場を懸けた予選会は、総合17位という結果に終わり、自己ベストを更新できた選手は2名のみでした。昨年のタイムから1人あたり1分30秒近く落とした計算になります。この原因は、人数不足であること自体よりも、チームとしての一体感に欠けていたことが大きいと思います。人数が揃わない中でも、日ごろからチームで目標や意識、互いの練習状況を共有した上で実力をつけていく必要があると痛切に感じました。来年から本選出場校の選考は記録審査方式に変わります。冬季シーズンでの記録が結果を左右することも十分考えられますので、1日1日の練習をより一層大切にしていきたいと思えます。

種目別選手権では、男子5000mに三上(3)と久富(1)が出場しました。この試合で久富は低調ながらも新人選手権標準を切る自己ベストの快走を見せてくれました。来年度の新人選手権ではリベンジを果たしてほしいと思います。また、長距離パートからは長らく関西規模の大会で通用する選手が出ていませんが、まずは1人でも多くの選手が標準記録を切れるよう、この大会を以てパート長を引き継いだ久富を中心に精進致します。

お忙しい中、今年もたくさんのOB・OGの皆様が駆けつけてくださり、選手一同大変励みになりました。選手を代表して御礼申し上げます。本当にありがとうございました。来年度も私たち長距離パートへの暖かいご声援のほど、どうぞよろしくご願ひ致します。

文責 長距離パート長 三上 賢吾(3)

フィールドパート

種目別選手権も終わり、今シーズンの試合もほとんど終わりました。種目別では大野(2)が自己ベスト更新、大黒(M1)が決勝進出と幅跳び勢が活躍しました。その一方で走高跳や三段跳ではDNSやNMがあり、調整にまだまだ課題が残りました。

しかし、今シーズンはほとんどの選手がベストを更新し、各大会の標準を切った選手も増えました。来シーズンは全員で関カレ出場、そして1人でも多く決勝に進出し、得点を取ることを目標に冬季練習に入っていきたいと思えます。

フィールドパート長は引き続き小寺(2)がさせていただきます。今後とも変わらぬご声援をよろしくご願ひします。

文責 フィールドパート長 小寺 知輝(2)

<OB会費納入者リスト>

宮坂敏男	水田三郎	伊藤清	赤峰純弥太	南武夫	笠井正樹	北側正明
鹿島幹夫	渡邊和生	吉藤忠夫	小寺俊英	白井啓次	坂野真規子	脇田和樹
山口尚夫	加藤廣和	安田孝	上武豊彦	柴原浩	井上知	三木成夫
宮田光章	浦田洋	小寺隆弘	<u>川本清</u>	<u>木下民法</u>	濱谷修一	中村俊之
<u>南田太</u>	外山哲明	中島公德	木下健次	白井幸次	道家樹	北野政明
牧之瀬直美	明井政博	小林友	中川智克	川瀬勝	土井佐規	山本昌孝
渡口秀信	澤善弘	千住哲平	富永明日香	二反田松平	新田新也	野々口諒一
林伸明	藤井嵩久	大石真由香	小川瑠美	中田洸樹	北川拓也	小池徳子
阪口知己	関岡由希子	刀祢光	中野智典	渡部翔太	大仲健司	野本健太
<u>高尾信成</u>	北川直昭	早川哲史	宝徳奈津美			

敬称略

11月11日現在、以上のOB、OGのみなさんからご支援をいただきました。また、太字で下線のついた方は、新たに納入して下さった方です。多くのご支援、ご協力、本当にありがとうございます。さて、先日行われた駅伝予選会では個々が力を出し切るも、惜しくも本選出場とは行きませんでした。種目別選手権では個々が力を出し切り、多くの選手が自己ベストや府大記録を更新することができました。応援に来て頂いたOB、OGの皆さま本当にありがとうございました。これからは来シーズンに向けて目標を持って日々練習に励みたいと思います。今後とも府大陸上部をよろしくお願い致します。

OB会では会費納入方法について会員の納入手続きの簡便のため、またOB会での事務処理軽減のため金融機関からの自動引き落としを推奨しています。銀行、郵便局、農協などほとんどの金融機関の利用が可能です。ご希望の方は以下の連絡先までご連絡ください。自動振込利用申込書をお送りいたします。よろしく願いいたします。

連絡先：

住所 〒599-8531

堺市学園町1番1号 大阪府立大学 陸上競技部OB会

お振り込みの際は、今回同封させて頂いた振り込み用紙をお使い下さい。1口1000円で、社会人の方は8口以上、院生の方は6口以上でよろしく願いいたします。